



ホームカミングデイ 2020

第3回くにたち賞表彰式
受賞者によるトーク&コンサート

2020年11月1日(日) 13時開式 講堂小ホール

主催 国立音楽大学同調会



第1部 第3回くにたち賞表彰式

開 式
主 催 者 挨 拶
表 彰
祝 辞
閉 式

第2部 受賞者によるトーク&コンサート

1 平松 久司

お話「くにたちで学んだ生きるよろこび」

2 岸 信介

ミサ曲 変口長調 Op.172 より“キリエ”…………… J.ラインベルガー
祈り…………… F.P.トスティ／島頼子 編曲
源兵衛さんの赤ちゃん…………… アメリカ民謡
権兵衛が種まく…………… 黒人霊歌
昂…………… 谷村新司 作詞・作曲

男声カルテット：クール・エスプリ
ピアノ：島頼子

3 小堀 勇介

《音楽の夜会》より…………… G. ロッシーニ
“饗宴” “踊り”
追憶…………… V. ベッリーニ
歌劇《泥棒かささぎ》より“おいで、この腕の中に”…… G. ロッシーニ

テノール：小堀勇介
ピアノ：久保山菜摘

4 Duo K&R

幻想曲 へ短調 Op.103, D940…………… F. シューベルト

ピアノ：川端慶子
ピアノ：柳瀬亮佑



受賞者プロフィール

〈大 賞〉

岸 信介（きし・しんすけ／全日本合唱連盟理事長）

国立音楽大学卒業後、日本合唱協会にてコンサートマスターを務める。指揮法を山田一雄、和声合唱法を増田順平の各氏に学ぶ。指導している合唱団の集まりである「舩の会」を主宰し、数々の新作を委嘱している。

欧州やアジアなど海外での演奏においても高い評価を得ており、アンリエット・ピュイグ＝ロジェ氏のピアノによる指揮リサイタルはCD「岸信介の世界Ⅰ、Ⅱ」として発売され好評を博している。また、NHK全国学校音楽コンクールや全日本合唱コンクール審査員、講演会講師など多方面で活躍を続けている。

現在、全日本合唱連盟理事長、東京都合唱連盟顧問、日本合唱指揮者協会会員、日墺文化協会会員、かながわ合唱指揮者クラブ会員、東日本合唱祭顧問、NS-4 クワトロ・メンバー。2019（令和元）年秋、文化普及功績により藍綬褒章受章。

〈大 賞〉

平松 久司（ひらまつ・ひさし／元全日本吹奏楽連盟理事長・京滋奈良同調会会長）

国立音楽大学卒業後、京都市交響楽団で第一トランペット奏者として活躍の後、京都橘高等学校の音楽教諭へ転身し、吹奏楽部を創設。正確な奏法と多彩な音楽表現指導を通じて日本一の高校マーチングバンドを作り上げ、全国的な指導者となる。

長年にわたって歴史ある全日本吹奏楽連盟（1939/昭和14年結成）の第11代理事長として、日本の吹奏楽の普及、発展に力を尽くした。特に少子化等を課題とし、少人数バンドの活性化を図り、次代を担う指導者の養成・マーチング活動の振興などに力を注いだ。全国14,000余団体加盟の大きな組織の緊密な連携を図り、吹奏楽文化の驚異的な質的向上を遂げた。現在も指導者として後進の育成に努め、指揮者としても活躍を続けている。

1974（昭和49）年に京滋奈良同調会を創設、以来46年間会長を務め、現在に至る。

〈奨励賞〉

Duo K&R 川端 慶子 & 柳瀬 亮佑（かわばた・けいこ、やなせ・りょうすけ／ピアノ・デュオ）

国立音楽大学音楽教育学科在学中の2010年に結成されたピアノ・デュオ。

シュトゥットガルト音楽大学大学院室内楽科、ロストック音楽大学ドイツ国家演奏家資格課程ピアノデュオ科修了。金子恵、ハンス＝ペーター＆フォルカー・シュテンツルの各氏に師事。

ピティナ・ピアノコンペティション、シューベルト国際ピアノデュオコンクール、ローマ国際音楽コンクール、国際ピアノデュオコンクール、モナコ国際ピアノデュオコンクール等、国内外のコンクールで入賞。ヨーロッパ各地の音楽祭に出演、またベートーヴェン・ハウス協会主催のファミリーコンサートにも積極的に取り組んでいる。マキシム・ヴェンゲーロフ指揮、Würth Philharmoniker と共演し、その演奏はSWR(南西ドイツ放送)にて高く評された。2017年、ブルーノ・フライ音楽賞を受賞。

〈奨励賞〉

小堀 勇介（こぼり・ゆうすけ／テノール歌手）

国立音楽大学ならびに同大学大学院を首席で修了。新国立劇場オペラ研修所第15期修了。文化庁新進芸術家海外研修生としてポローニャへ留学。ペーザロのアカデミア・ロッシニアーナを修了。G・クーン氏の指揮のもとチロル祝祭歌劇場本公演《アルジェのイタリア女》のリンドーロ役でヨーロッパ・デビューを果たす。第7回静岡国際オペラコンクール入選並びに三浦環特別賞を受賞。第36回飯塚新人音楽コンクール第1位。第16回東京音楽コンクール声楽部門第2位。第88回日本音楽コンクール声楽部門第1位。日本ロッシーニ協会会員。

出演者プロフィール

クール・エスプリ（男声カルテット）

合唱指揮者・岸信介氏の呼びかけにより誕生。1988年にグループ名を「クール・エスプリ」と命名して以来、『合唱を楽しく』をモットーに演奏活動をスタート、全国各地で幅広い演奏活動を行い、合唱の楽しさ、喜びを伝えてきた。宗教曲からポピュラーソングまでの幅広いレパートリーに加え、四人の生の声が醸し出す絶妙のハーモニーで観客を魅了している。

奥隅 正（おくずみ・ただし／トップテナー）

埼玉大学教育学部音楽科卒。埼玉大学混声合唱団で顧問の増田順平氏との運命的な出会いがあり、卒業後は氏の主宰するプロ合唱団「日本合唱協会」に入団。4年間の活動後独立。テレビ・スタジオ仕事のほか、コーラルファミリー、大宮混声合唱団など5団体の指揮者として活動。蓮田市演奏家協会副会長・事務局長。

藤田 久男（ふじた・ひさお／セカンドテナー）

国立音楽大学教育音楽学科1類卒業。在学中は岡本敏明、小山章三各氏に師事。全国的に合唱演奏活動を行った。卒業後はさいたま市内の小学校音楽専科として37年間務めた。その間も市内で朋友混声合唱団を50年以上に亘り指揮、他女声合唱3団体指導、現在に至る。さいたま市合唱浦和の会会長。同市文化協会副理事長。

佐藤 幸雄（さとう・ゆきお／バリトン）

神奈川大学法学部卒業。34歳の時に、本格的に声楽を勉強するために、金子一雄、ツネ子ご夫妻の門下生となり、山田耕筰歌曲やドイツ歌曲を学ぶ。その後、ドイツリートを更に探究する目的で、声楽家の芳野靖夫氏に師事し、現在に至る。この間、シューベルトの三大歌曲集や、ヴォルフ歌曲などを研修し、数多くの様々な演奏会に出演し研鑽を積む。

岸 信介（きし・しんすけ／バス）

島 頼子（しま・よりこ／ピアノ）

国立音楽大学声楽学科卒業。同大学オペラ演習の元伴奏ピアニスト。岸信介氏は音大の同級生という縁もあり、クール・エスプリとはピアノ伴奏、編曲、作曲など多岐にわたり長い付き合いを続けている。童謡メドレー「どこかで春が」、「クール・エスプリ愛唱歌集」など18種の編曲楽譜を出版。2006年～2016年まで埼玉県同調会会長。

久保山 菜摘（くぼやま・なつみ／ピアノ）

桐朋女子高等学校音楽科を経て、2015年桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を首席で卒業。宮内庁主催桃華楽堂新人演奏会に出演。2018年度桐朋学園大学研究科修了。これまでに池川礼子、杉谷昭子、篠井寧子、中村順子に師事。作曲を森山智宏、ピアノを二宮裕子、練木繁夫に師事。

2008年ベルリンスタインウェイ国際ピアノコンクール第2位、聴衆賞及びコンサート賞をはじめ、国内外で数々の賞を受賞。

第4回くいたち賞募集要項

(1) 候補者

くいたち賞の表彰対象は、芸術、学術、教育等の分野における諸活動において顕著な功績を挙げた卒業生である個人または卒業生で構成される団体とします。（物故者を除く。）

① 大賞 2件

本学卒業後10年以上経過した者または主として10年以上経過した卒業生で構成される団体。

② 奨励賞 2件

満40歳未満の者または主として満40歳未満の卒業生で構成される団体。

(2) 推薦方法

本学卒業生からの推薦に限ります。自薦はできません。推薦書、推薦書の記入方法、推薦要領、表彰規程は、同調会ウェブサイトに掲載しています。（<https://dochokai.kunitachi.ac.jp/>）

(3) 締め切り

2020年11月30日（月）消印有効

(4) 表彰

2021年度開催予定の「ホームカミングデイ2021」にて表彰。受賞者には、賞状と副賞（大賞30万円、奨励賞10万円）を贈呈します。

(5) 宛先

国立音楽大学 同調会事務局
〒一九〇―八五二〇

東京都立川市柏町5-5-1

電話 042-535-9516